

\* 調査の詳細は、ホームページをご覧ください。

アイコン 景況調査



## 業況判断 DI は全産業で悪化 製造業は悪化、非製造業は改善

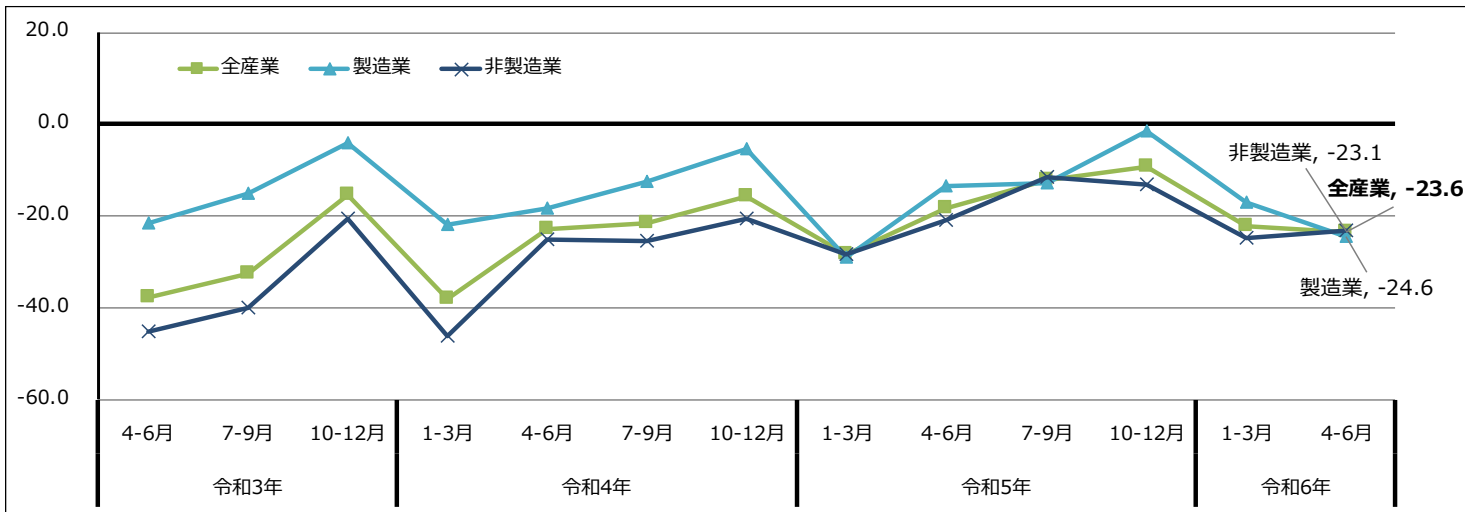
- ◆ **売上**：全産業・非製造業がともに改善、製造業が横ばい・・・卸売業が大幅に改善。
- ◆ **収益**：全産業は横ばい、製造業は悪化、非製造業は改善・・・その他製造業が大幅に悪化。
- ◆ **従業員の過不足**：全産業、製造業、非製造業いずれも不足感が低下・・・一般・輸送機械では上昇。

### ◆ 業況判断（前期比） 注：（ ）内は前回調査との差を示します。

#### <全体>

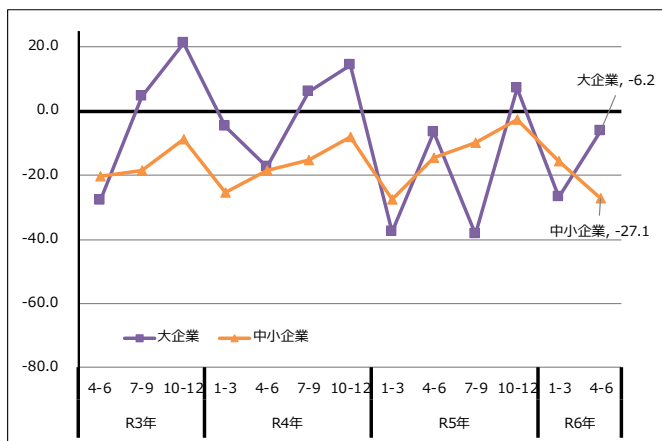
業況判断 DI は、▲23.6（-1.2）で悪化しました。

業種別では、製造業は▲24.6（-7.5）で悪化、非製造業は▲23.1（+1.7）で改善しました。



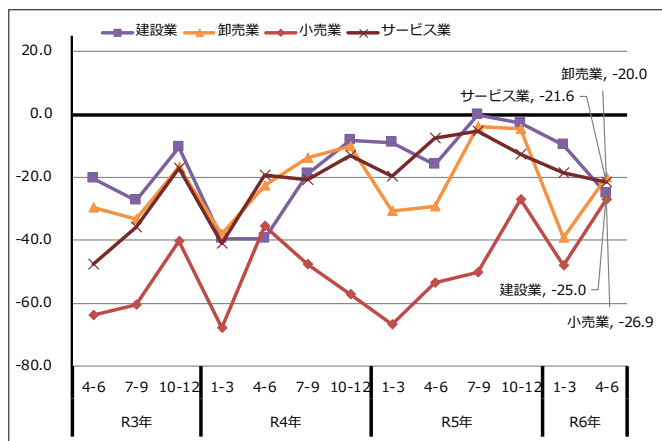
#### <製造業（規模別）>

大企業は▲6.2（+20.5）で大幅に改善、中小企業は▲27.1（-11.4）で悪化しました。



#### <非製造業（業種別）>

小売業が▲26.9（+21.1）で大幅に改善、卸売業が▲20.0（+19.1）で改善、建設業が▲25.0（-15.2）、サービス業が▲21.6（-3.1）で悪化しました。



#### DI とは

景気動向指数「ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index)」の略。「好転」(または「上昇」「増加」「過剰」と回答した企業の比率から「悪化」(または「下降」「低下」「不足」と回答した企業の比率を差し引いたもので、業況の方向感を測るための指標です。

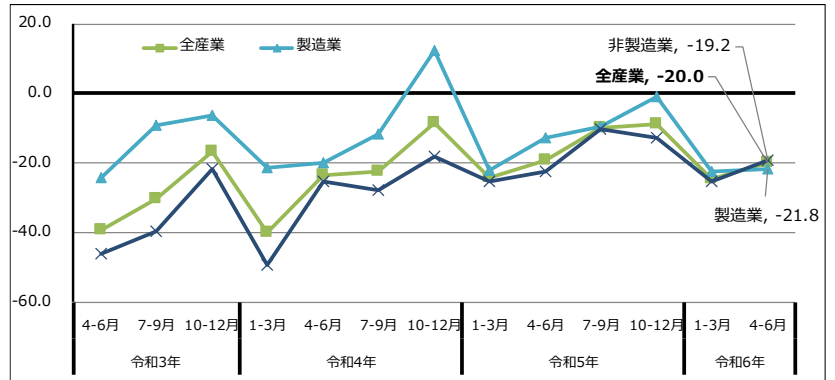
## ◆業界天気図



業種 項目	全産業	製造業			非製造業				
		全体	大企業	中小企業	全体	建設業	卸売業	小売業	サービス業
今回業況判断DI値									
前回との差									

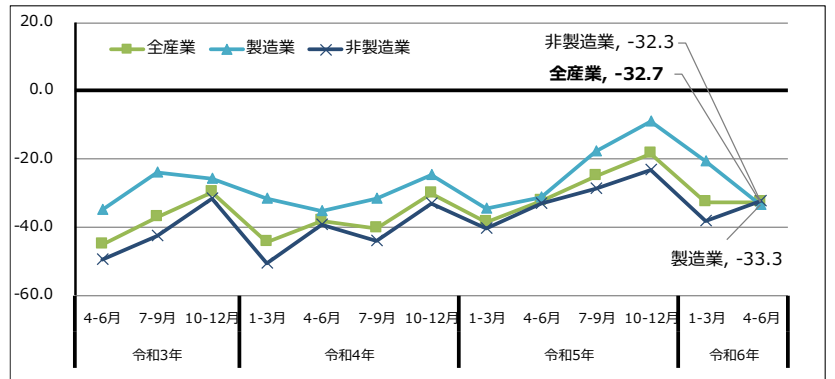
## ◆出荷額・売上高・完成工事高

- ・出荷額・売上高・完成工事高 DI は、全産業で▲20.0 (+4.5) となり、改善しました。
- ・製造業は▲21.8 (+0.5) で横ばい、非製造業は▲19.2 (+6.3) で改善しました。



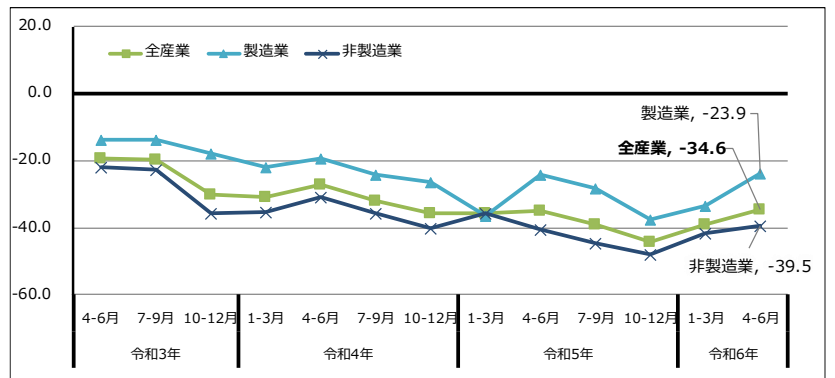
## ◆収益（前期比）

- ・収益（前期比）DI は、収益が前期より「好転」したか「悪化」したかを示すものです。全産業で▲32.7 (±0.0) で横ばいとなりました。
- ・製造業は▲33.3 (-12.6) で悪化、非製造業は▲32.3 (+5.9) で改善しました。



## ◆従業員過不足

- ・従業員過不足 DI は、従業員が「過剰」と「不足」のどちらの企業が多いのかを表し、マイナス値は「不足」が多い状況です。全産業では▲34.6 (+4.5) となり、不足感が低下しました。
- ・製造業では▲23.9 (+9.4)、非製造業では▲39.5 (+2.3) と、ともにマイナス幅が縮小し、不足感が低下しています。



### <本資料の問い合わせ先>

■ 尼崎市 経済環境局経済部 産業政策課

担当：宮崎・名井

連絡先：06-6489-6670

■ (公財) 尼崎地域産業活性化機構 調査研究室

担当：仲山・重本

連絡先：06-6488-9501 (代)

<https://www.ama-in.or.jp/research/sub01.html>